

高機能自閉症の人の7つ道具セミナー

アメリカの高機能自閉症者であるT・グランディンさんは、「私は、言語よりも絵や写真で考えている」と述べていますが、自閉症の人は聞いて理解するよりも、見て理解することが得意です。

そこで自閉症の人に対する視覚的支援、環境の構造化（TEACCHなど）、視覚的なコミュニケーション法（絵カードコミュニケーションなど）が世界的になっています。しかし、それらはバラバラに広まって、まとまりがありません。実際にどのように指導し、取り組んだらいいのかもわかりません。そこで私たちは、自閉症の人の不安やストレスを減らし、環境に適応しやすくなるための視覚的支援方略を7つにまとめた「7つの道具」を開発しました。

このセミナーでは、まず自閉症スペクトラムの人が、人とかかわる上で不安やストレスに感じていることに基づいて、なるべく不快な状況を減らし、わかりやすい情報提示の仕方をご紹介します。次に気持ちを表現することが難しいことから、絵カード、ジェスチャー、音声のコミュニケーションの指導方法をお伝えします。最後に行動の切り替えや、人前での振る舞い方についての理解を促す方法を話します。

実際に7つの道具の教材を使いながら指導のやり方を実演し、受講者同士で練習して楽しく学ぶことができます。

講師

今本 繁 いまもと しげる 先生

合同会社ABC研究所 代表
B. Eng. 行動エンジニア
M. Ed (筑波大学) 臨床心理士
自閉症スペクトラム支援士 EXPERT



東京工科大学工学部卒業後、ボランティア活動に従事し、心理専門職を目指して広島大学研究生、筑波大学研究生を経て、筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科入学。行動療法の小林重雄教授（筑波大学名誉教授）に師事。修士号取得後は、知的障害者通所施設大野城すばる園（野口幸弘所長：現西南大学教授）にて研究活動と同時に非常勤指導員として勤務。その後、国立肥前療養所（現肥前精神医療センター）心理療法士として勤務後、ウエスタンミシガン大学ABAサマーブーツキャンプ研修、ノースカロライナ大学TEACCH部で1年間の研修などを経て平成14年に西南女学院大学で講師を務める。平成17年に絵カード交換式コミュニケーションシステム（PECS）の普及を目指してピラミッド教育コンサルタントオブジャパン(株)を設立。平成27年に退職し、現職。

日時

令和1年6月30日（日）
10:00-16:00（受付9:30～）

場所

西田布施公民館
〒742-1511
山口県熊毛郡田布施町大字下田布施 2210 番地 1
※近くには昼食会場がありません

タイムスケジュール

10:00-11:00（講義）
休憩
11:10-12:30（講義）
昼食休憩
13:30-14:40（講義）
休憩
14:50-16:00（講義）

【参加費】 2500 円

【対象】 学校、幼稚園関係者・行政関係者・支援者・保護者

【申込み・問い合わせ】 医療法人 成心会 ふじわら医院

TEL: 0833-91-7100 Fax: 0833-91-7101

別紙の申込み用紙にご記入の上 Fax してください

申し込み用紙

高機能自閉症の人の7つ道具セミナー 研修会 申込書

令和 年 月 日

医療法人成心会 ふじわら医院 宛
(FAX 0833-91-7101)

所属 _____

連絡先 _____

TEL _____

FAX _____

次のとおり申し込みます

| 氏 名 | 職 名(職 種) |
|-----|----------|
| | |
| | |
| | |
| | |

メールで申し込みをされる方は上記内容を記入し、送信してください。

✉ hatfu189@ceres.ocn.ne.jp

※ 申込期限 令和1年6月27日(木)